

# 日本ウマ科学会 2020年度 第2回常任理事会

日 時：2020年2月21日（金）13：30～15：10

場 所：日本装削蹄協会 会議室（JRA 新橋分館7階）

出席者：青木 会長  
田谷 副会長  
平賀 副会長  
笠嶋 庶務担当常任理事  
楠瀬 編集担当常任理事  
桑原 国際担当常任理事  
近藤 学術担当常任理事  
和田 広報担当常任理事  
佐々木 臨床担当常任理事  
成田 事務局長

欠席者：半澤 会計担当常任理事

オブザーバー：高橋敏之（JRA 総研 臨床医学研究室長：次期庶務担当常任理事）

## 議題

青木会長 挨拶

1. 第32回学術集会開催報告・・・・・・・・・・・・（近藤・事務局）
2. 2020年活動計画について・・・・・・・・・・・・（笠嶋・事務局）
3. 役員の変更について・・・・・・・・・・・・（笠嶋・事務局）
4. 第33回学術集会予定・・・・・・・・・・・・（近藤）
5. その他
  - 1) 第一回および第二回認定馬臨床獣医師認定試験について・（佐々木）
  - 2) 臨床委員会企画の準備状況・・・・・・・・・・・・（佐々木）
  - 3) 学会賞・奨励賞・功労賞の選考について・・・・・・・・・・・・（事務局）

## 議事概要

#### 議題 1 .

- 第 32 回学術集会では、一般演題 50 題（対昨年比+12 題）、シンポジウム（1 題）、臨床委員会主催の招待講演（1 題）および症例検討会が行われ、有料参加者は 430 名（会員 286 名・非会員 80 名・学生 64 名）であった。昨年は参加者 387 名（会員 262 名・非会員 82 名・学生 43 名）
- 倉田評議員の司催により、企業展示会場の一角にて伯楽会会員 5 名による「馬の絵画展示」を行った。
- 協賛企業 20 社による企業展示ならびに同会場にて飲み物サービスを行った。
- 会場使用料は値上げにより増加したが、今後も参加費収入との収支バランスは維持できる見込みである。
- 臨床医委員会主催の招待講演、症例検討会では、外国人講師を 2 名招待したが、カタールー日本間の交通費が VetPD から支出されたため、交通費支出が大幅に減少した。

#### 議題 2 .

- 笠嶋庶務担当常任理事より、2020 年度活動計画（案）の説明があり、原案どおり承認された。
- 次回の常任理事会までに、各賞受賞候補者を検討する。

#### 議題 3 .

- 3/1 付の JRA 定期人事異動に伴い、副会長が平賀敦→和田信也（JRA 総研 所長）、庶務担当常任理事が笠嶋快周→高橋敏之（JRA 総研 企画調整室 長）、事務局長が成田正一→小野圭一（JRA 総研 企画調整室 調査役）にそれぞれ変更となる予定。その他、評議員の伊藤幹→蘆原永敏（JRA 美浦 TC 競走馬診療所長）、学術委員会委員の佐藤文夫→守山秀和に変更となる予定。

#### 議題 4 .

- 第 33 回学術集会は 2020 年 11 月 30 日～12 月 1 日に KFC Hall and Rooms にて開催予定。
- 2 日目午後に「1. オリンピックを終えて 一馬術競技の獣医学的対応を振り返るー（案）」または「2. 小格馬やおとなしい乗用馬の積極的利用について考えよう！（案）」を開催予定。
- 臨床委員会主催の招待講演については、Dr. Martin Krarup Nielsen（Equine parasitology at Maxwell H Gluck Equine Center at the University of Kentucky）による「馬の寄生虫疾患の診断・治療・予防プログラム（仮）」を開催予定。
- 2 日目に第 2 回認定馬臨床獣医師認定試験（60 分）を行う予定。

- 一般講演以外のプログラムは、次回常任理事会までに確定させる。

#### 議題 5. 1)

- 佐々木臨床担当常任理事より、第1回認定馬臨床獣医師認定試験について、実施概要が報告された。
- 第2回認定馬臨床獣医師認定試験の試験案内について説明があった。

#### 議題 5. 2)

- 佐々木臨床担当常任理事より、臨床委員会主催の招待講演および症例検討会は、**Dr. Martin Krarup Nielsen** を講師として、馬の寄生虫関するテーマで開催準備中であることが報告された。

#### 議題 5. 3)

- 特に検討事項はなし。次回の常任理事会までに受賞候補者を検討する。

#### その他

今後、絵画展については、伯楽会会員だけでなく、当学会の会員の作品展示を受け入れる方向への対応について、会長が倉田評議員と協議することとなった。